



## ■ 公益財団法人空知しんきん産業文化振興基金による各種地域貢献活動の表彰

昭和63年1月、当金庫が設立母体となり設立した財団で、「産業技術賞」等により表彰・奨励する事業を継続し、平成22年11月に道内金融機関関連では第1号として公益財団法人の認定を受け、さらに平成23年6月には、一般社団法人全国信用金庫協会より信用金庫業界顕彰制度の選考において最高賞である社会貢献賞「会長賞」受賞の栄誉を賜りました。

### ▶「産業技術賞」「文化賞」「ふるさとづくり大賞」の募集・表彰(主旨・目的)

南空知地区における中小企業の経営力や技術水準の向上と地域文化の振興を促進するため、優れた新商品・技術等を開発した地元企業や個人、地域文化の向上に貢献した団体・個人を表彰・助成し地域経済社会の繁栄に寄与する事を目的としています。

(表彰対象・資格)

#### ▶産業技術賞等

南空知地域の事業所のうち、1年以上同一の事業を営む事業所およびこれに所属するグループまたは個人。

#### ▶文化賞等

南空知地域の市町にある文化、演劇、美術等の文化団体、グループまたは個人で地域文化の向上に著しく寄与したものと認められる活動ならびに作品。

#### ▶ふるさとづくり大賞等

南空知地域の市町において、地域の振興や活性化のために、永年にわたり行われてきた活動が、一定の成果となって現れている団体や個人、また、その活動を今後も継続的に行うことで将来、成果が着実に現れるものと判断される個人や団体。

(第33回表彰の内容)

#### ▶産業技術部門

産業技術賞	1先	奨励金	30万円
産業技術奨励賞	1先	奨励金	15万円

#### ▶文化部門

文化賞	1先	奨励金	30万円
文化奨励賞	2先	奨励金	10万円
地域文化貢献賞	2先	奨励金	5万円

#### ▶地域振興部門

ふるさとづくり大賞	1先	奨励金	30万円
ふるさとづくり奨励賞	2先	奨励金	10万円
ふるさとづくり貢献賞	2先	奨励金	5万円

### ▶第33回受賞者

#### 【産業技術賞】

#### 国産子実コーンの濃厚飼料を生産・販売する体系を確立し、生産組合を組織

日本で飼料として乾燥された子実の99%は輸入であり、輸入穀物に頼っていた飼料用穀物という分野において、平成24年から先駆的に子実用とうもろこしの生産を開始。

遺伝子組換えや殺菌・防かび剤が使われていない純国産子実コーンの濃厚飼料として需要が高く、新しいマーケットが開拓された。平成27年には栽培支援や有利販売を目的とした空知子実コーン生産組合を設立した。

(長沼町 有限会社柳原農場)

#### 【文化賞】

#### 永年にわたり北海道独特の文化である下の句歌留多を継承

明治38年に発足し、全日本下の句歌留多協会における北海道最古の支部として、114年の歴史を有している。当倶楽部が主催する「全日本下の句歌留多岩見沢大会」は、平成31年4月で95回目の開催となり、全道各地から160名を超える愛好家が参加。時代と共に娯楽も多様化しているなかで、明治時代から続く北海道独特の文化である下の句歌留多(百人一首の板歌留多)の継承、発展、さらに青少年育成に大きく貢献している。

(岩見沢市 岩見沢梅ヶ枝歌留多倶楽部)

#### 【ふるさとづくり大賞】

#### 地域の伝統的特産品による地域振興

岩見沢では「雉が森」の地名があるとおり多くの野生雉が生息していたことから、特産品として上志文の農家の人たちの手で雉を飼育・生産されていたものを、平成10年に継承。食用雉の生産・加工・販売は、日本全国でも数か所しかなく大変貴重な食材で、約6千羽を障がい者の方達が繁殖・飼育して雉肉を道内外に出荷する他、直営のレストランで提供。

また、岩見沢市の冬の大イベントである「ドカ雪祭り」で「きじ鍋」を無料で提供し、イベント等にも積極的に協力して岩見沢の観光振興に大きく貢献している。

(岩見沢市 社会福祉法人 岩見沢清丘園 ワークつかさ)

